

# TOKYO 人権

●インタビュー／頭木弘樹

救いとしての「絶望名言」

—弱さやつらさを支える文学

●特集

“誰も取り残さない”未来のために  
～ SDGsに「人権」が必要な理由 ～

●コラム

誰もが自由に旅を楽しめる街に  
電動車いす利用の外国人旅行者をおもてなし!



# 救いとしての 「絶望名言」

—弱さやつらさを  
支える文学

かしら ぎ ひろ き  
頭木 弘樹さん  
文学紹介者



大学生のときに、難病「潰瘍性大腸炎」と診断された頭木弘樹さん。入退院を繰り返すなかで、カフカの小説『変身』などの文学作品に傾倒し、絶望した心を救われました。その経験から、「文学紹介者」として、絶望と文学をテーマに出版活動を行い、NHKのラジ

オ番組にも出演中です。頭木さんの言う「絶望名言」とはどのようなものか。難病を経験して感じた社会のあり方や、弱さやつらさを抱えた人たちの支えとなるものは何かについてお聞きしました。

## —潰瘍性大腸炎と診断された ときのことを教えてください。

僕は、大学3年の20歳のときに潰瘍性大腸炎と診断されました。下痢や下血が続いていることをおかしいなと思いつつも、命に関わる病気と診断されることが怖くて、病院できちんとした診察を受けずにいました。しかし、我慢しているうちにどんどん出血量が増え、激しい腹痛を起こすようになり、結局、友人に担ぎ込まれるようにして病院に連れて行かれ、そのまま

入院することになったのです。

潰瘍性大腸炎は、厚生労働省指定の「難病」です。症状の現れ方は個人差が大きく、軽い薬で大腸の炎症を抑え、普通の暮らしができる人もいれば、薬が効かず寝たきりの状態になる人もいます。僕の場合は強い薬が効いて一時的に炎症が治まるのですが、副作用が多いので薬の量を減らすと、また炎症が起きてしまうタイプでした。今は手術をし、服薬しながら一人で社会生活を送ることができていますが、入院当初は医師に「就職も大学院進学も諦め、親に面倒を見てもらう

しかない」と宣告され、実際、13年間、入退院を繰り返すことになったのです。

### —絶望して倒れたままの期間をどう過ごすか

例えば、風邪ならたいていそのうち治りますし、軽い失恋ならやがて時間が解決するでしょう。しかし、「一生治らない」と宣告されたとき、大学の友人には将来の選択肢がたくさんあるのに、僕の選択肢はゼロになってしまいました。自分のなかで絶望と向き合うことが始まった瞬間でした。

ここで、注意しておきたいのが「絶望」に対するイメージについてです。おそらく多くの人が「絶望をしてもいつかは立ち直り、希望を持てる」と信じていると思うのです。

この「絶望」→「立ち直り」のイメージが強すぎる場合、悩みが解決しないと本人は苦しむわけです。周りの人も、最初は時間をかけて立ち直らせようとしませんが、なかなか立ち直らないと「いつまで落ち込んでいるんだ」と怒り出します。それでもまだ落ち込んでいると、今度は「前を向け」と言って立ち直りを促そうとします。こうした励まし方は急ぎ過ぎだと思うのです。

人には「絶望」か「立ち直り」のどちらかだけではなく、絶望して倒れたままになる期間があります。この期間をどう過ごすのが本人にとっては一番難しいのです。

### —絶望の期間に 頭木さんの支えになったものは？

ぼくは人生に必要な能力を、なにひとつ備えておらず、ただ人間的な弱みしか持っていない。無能、あらゆる点で、しかも完璧に。(カフカ)

『NHKラジオ深夜便 絶望名言』より

入院したときに思い出したのが、カフカ<sup>\*1</sup>の小説『変身』です。中学生の夏休みの課題で読書感想文を書くことになり、ページ数が少ないという理由だけで選んだ本でした。そもそも私は読書が好きではなかったので(笑)。主人公がある日、突然虫になり、外にも出られず、家族に面倒を見てもらうという突飛な話なのですが、まさに難病になって入院した自分そのものではありませんか。親に頼んで家から本を持ってきたら、改めて読み返してみたら、もう涙なしには読めないドキュメンタリーでした。引きこもる主人公や、主人公の世話で次第に疲れていく家族の気持ちな

どが本当にリアルに書かれています。『変身』は引きこもりの小説であり、介護や難病の小説でもあったのです。

それからカフカの他の小説も読んでみると、どれも自分の気持ちにじっくり来るものばかりでした。例えば『フェリーツェへの手紙』に「将来にむかって歩くことは、ぼくにはできません。将来にむかってつまずくこと、これはできます。いちばんうまくできるのは、倒れたままでいることです」という言葉が出てくるのですが、あまりにもネガティブで、かえって笑えてこないでしょうか？

僕にとってカフカはもはや「絶望の名人」であり、そんなふうに見出した「絶望に寄り添う言葉」がすなわち「絶望名言」なのです。

不幸には漏れなく孤独がついてくるもので、不幸が激しいほど孤独も深くなっていきます。そんなとき、本の中に「これは自分の気持ちを分かっている言葉だ」と思えるものがあると、心がほどけるといって、少し救われる感じがするのです。

### —「文学紹介者」として活動する きっかけを教えてください

絶え間のない悲しみ、ただもう悲しみの連続。

(ドストエフスキー)

カフカの次に選んだのがドストエフスキー<sup>\*2</sup>。一度、難しくて読みにくいといわれる『カラマーゾフの兄弟』に挑戦して、挫折したことがありました。

入院中なら何となく読める気がして『カラマーゾフの兄弟』を手にとってみたところ、これがもう、読みやすいことこの上なかったのです。僕自身が難病になり、解決しない問題を頭の中でくどくどと反すうしていたので、その気持ちに文章がマッチしたのでしょう。その上、登場人物が全員悩んでいるので、悩みの尽きない僕にとっては大変心地よかった。

そうして夢中になって読んでいたら、同じ病室に入院していた50代の男性に「自分が苦しいときに、よくそんな本読めるね」と言われました。

その男性は会社員で、入院した当初は「日本経済新聞」を読んでいました。その人が「読んでみたい」というので『カラマーゾフの兄弟』を貸しましたが、僕は男性が「本を読むのが苦手」と話していたのを知っていたので、すぐにやめると思っていました。ところが、驚いたことに彼は熱心に読み続けたのです。すると、同じ6人部屋に入院していた他の4人も「そ

※1 フランツ・カフカ  
チェコの大都会プラハに生まれたドイツ語作家。代表作に『変身』『審判』『城』など。

※2 フョードル・ドストエフスキー  
ロシアの小説家。代表作に『罪と罰』『カラマーゾフの兄弟』『白痴』『悪魔』など。

んなに面白いなら自分も」と、いつの間にか6人全員でドストエフスキーの本を読むようになりました。やがて、うわさを聞いた他の病室の方も次々と借りに来るようになり、「読んでよかった」と礼状までいただくこともありました。

僕は、「紹介者さえいればこうした文学を必要とする人が必ずいるのだ」と感じたのです。体験記や闘病記をいくら読んででも出会うことができなかった絶望に寄り添う言葉が、文学の中にあつたのです。これが、僕が「文学紹介者」としての活動を志したきっかけです。

### —退院後の出版活動や ラジオ出演について教えてください。

2011年10月に『絶望名人カフカの人生論』（新潮文庫）を出版しました。カフカの日記やノート、手紙につづられた絶望<sup>ぐち</sup>や愚痴<sup>じぎゃく</sup>、自虐の言葉を集めた内容で、読者からの反響もありました。こうした活動がNHKの「ラジオ深夜便」のディレクターの目に留まり、出演のお話をいただきました。最初はゲストでしたが、2016年から同番組内の「絶望名言」と「絶望名言ミニ」というコーナーにレギュラー出演しています。深夜というか夜が明ける前というか、独特の時間帯に、絶望したときの気持ちをびたりと言い表した文学作品の言葉や、文豪の名言を紹介する内容で、リスナーの方たちからは好意的な反響をいただいています。2018年には書籍化もされました。

そもそも、『絶望名人カフカの人生論』を出版するときに、出版社からタイトルや出版時期の変更を打診されました。東日本大震災の被災者の方々に配慮する必要があつたためです。一方で、僕は入院生活を送る中で、絶望と孤独がともにあることを知りました。きっと被災地の皆さんも孤独を抱えているのではないかと考え、むしろ出版すべきだと判断しました。批判も覚悟の上でしたが、ありがたいことに、被災地の方から「とてもよかった」と、たくさんのはがきや手紙をいただきました。絶望の文学はこうした方々に寄り添う言葉でもあつたのだと思いました。

### —難病と人権についての お考えをお聞かせください。

人間は、何か一つ触れてはならぬ深い傷を背負って、それでも、堪えて、そ知らぬふりをして生きているのではないのか。

（太宰治『火の鳥』）

難病には様々な種類があり、障害者総合支援法が適用される疾病もあります。潰瘍性大腸炎の場合は症状の程度によるのですが、症状が軽い方の中には「障害



者といわれるのがいやだから、国に難病指定を外してほしい」とおっしゃる方がいます。「病人」「障害者」というだけで社会から差別を受けることもあるのだと改めて思い知りました。ときとして、支援を必要とすることが「弱さ」として非難されることもあります。

でも考えてみて下さい。世の中には絶望とは無縁の人たちもいますが、人間として「弱さ」を持っていない人はいません。

弱さを別の価値で担保するのではなく、弱くてもいいと認め合う。弱さを認め、弱さを含んでいることが社会にとってマイナスではなく、様々な人びと、存在を包み込んでいることにこそ価値があるということを見出してほしいのです。

これは決して難病に限ったことではありません。障害のある人や、介護を必要とする高齢者、ほかにも様々な支援を必要とする人がいます。そうした存在を含めてこの社会はあるわけですから、人権が尊重される社会というのは、弱い人が弱いまま生きられる社会なのだと思います。

そして、そんな人を支えるものの一つとして文学がある。僕はそこに寄り添う言葉や作品を今後も紹介していきたいと思っています。

インタビュー／坂井 新二（東京都人権啓発センター 専門員）  
編集／小松 亜子 撮影（表紙・2～4ページ）／加藤 雄生

#### ● 頭木弘樹（かしらぎ・ひろき）



筑波大学卒業。大学3年で潰瘍性大腸炎と診断され、13年間入院を繰り返す。闘病中にカフカやドストエフスキーによる文学が救いとなった経験から、文学紹介者として出版活動を行う。2016年より、NHKラジオ「ラジオ深夜便」に出演中。著書に『NHKラジオ深夜便 絶望名言』（飛鳥新社）、『ミステリー・カット版 カラマーゾフの兄弟』（春秋社）など多数。

profile

# 電動車いす利用の外国人旅行者をおもてなし！

## 誰もが自由に旅を楽しめる街に

**日本の観光情報を身体に障害のある外国人旅行者向けに、英語で紹介するWEBサイトがあります。サイトを運営するグリズデイル・バリージョシュアさんは、電動車いす利用者の視点から情報を発信しています。来日する電動車いす利用の旅行者に、私たちができることを伺いました。**

日本を訪れる外国人旅行者はこの6年間で飛躍的に増えており、2018年は3,119万人を超えました。来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることもあり、外国人旅行者がさらに増えることでしょう。

そうした中で、主に電動車いすを利用する外国人旅行者向けに、日本の観光情報を英語で紹介するWEBサイト「ACCESSIBLE JAPAN(アクセシブル・ジャパン)」が注目されています。その特徴は、交通機関やホテル、公共施設などのバリアフリー情報が、電動車いす利用者の視点から紹介されている点です。

同サイトを2015年に立ち上げたのが、カナダ生まれのグリズデイル・バリージョシュアさんです。

生まれたときに発症した病気が原因とみられる脳性まひにより、両手足に障害が残ったグリズデイルさんは、4歳から電動車いすを利用しています。初来日は2000年、19歳のときです。丁度、日本では公共交通機関のバリアフリー化を推進する法律が施行されたころでした。「2007年までに数回来日しましたが、そのたびにバリアフリー化が進んでいることに感動しました」と振り返ります。

その後、2007年の26歳のときに日本で職を得て移住、2016年に帰化し、現在は東京の社会福祉法人で仕事をしています。



グリズデイル・  
バリージョシュアさん

「アクセシブル・ジャパン」を開設したきっかけについては「日本はバリアフリー化が進んでいるのに、その情報が外国人に向けてあまり発信されていないと感じたからです」と語ります。例えば、駅構内のどこにエレベーターが設置されているのか、旅先に車いすで乗車できる福祉車両があるかなど、日本語のバリアフリー案内はあっても英語版がなかったり、旅行代理店のスタッフが知らなかったりするケースもあるそうです。

「私は、旅行は人権そのものだと思います。障害者も健常者も同じように“旅行を楽しむ権利”があ

ると思うのです。冒険好きな私の場合は、自分でいろいろな情報を探することも旅行の楽しみと考えています。でも情報が少ないために不安を感じたり、訪日を諦める人がいるかもしれません。それは非常にもったいないですね」(グリズデイルさん)。

また、外国人旅行者が困惑する場面として多いのが、電動車いすの種類の違いによる問題です。海外で使われている電動車いすは、バッテリーが大きいので非常に重く、グリズデイルさんのものは130kgぐらいあります。電動車いすの重さに利用者の体重が加わるので、重量オーバーのため公共機関の車いす用リフトに乗らないことがあるそうです。

ほかにも海外では一般的な「ハンドル型の電動車いす」が、日本では「車両」とみなされて電車に乗れなかったケースもあったそうです。

電動車いすを利用する外国人旅行者のために、私たちができることとして、グリズデイルさんは「まず自分の街を知ること」を挙げています。例えば、駅の入口やエレベーターや「多機能トイレ」がどこにあるのか、電動車いすで入れそうな飲食店はどこかなど、普段から意識しておけば必要なときに情報提供をすることができます。

さらに「日本人の柔軟な工夫に期待している」と語ります。「以前、電動車いすのサイズが大きく、飲食店に入れなかったとき、オーナーが店の外に席を作ってくれたことがあります。これこそ“おもてなしの心”だと感激しました」(グリズデイルさん)。

東京2020大会開催が近づいてまいりました。皆さんも一人ひとりができる「おもてなし」を、今から少しずつ準備してみませんか。

インタビュー／勝尾 栄(東京都人権啓発センター専門員)、編集／小松 亜子

### もっと知りたい！

**ACCESSIBLE JAPAN**  
<http://www.accessible-japan.com>

都内のバリアフリー情報や多機能トイレの位置などが紹介されています(英語のみ)。

<取材協力> アゼリーグループ 社会福祉法人江寿会「アゼリー江戸川」

SDGsの最後の「s」は？

- ① special (スペシャル) の略
- ② superb (すばらしい) の略
- ③ 複数形の「s」

答えは右ページ下に  
あります。

# “誰も取り残さない” 未来のために ～SDGsに「人権」が必要な理由～

気候変動や貧困、資源の枯渇など、私たちの社会は地球規模の課題に直面し、将来、安定した暮らしができなくなるといわれています。この状況に取り組むため、国連サミットで「SDGs (エスディージーズ：持続可能な開発目標)」が掲げられました。その前文には「誰一人取り残さないことを誓う」「すべての人々の人権を実現する」という言葉が明記されています。SDGsに何故、このような人権的視点が必要なのでしょう？ カードゲーム「2030SDGs」を通して、その理由を考えます。

## 「SDGs (持続可能な開発目標)」とは

2015年9月、国連で「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ(以下、2030アジェンダ)」が採択されました。これは、地球や人類の繁栄のために、全世界が2030年までに達成すべき目標を掲げた文書です。前文には「誰一人取り残さない」「すべての人々の人権を実現する」と宣言されており、人権尊重の理念が基礎にあることを示しています。

この2030アジェンダで掲げられている行動目標が、17の目標と169のターゲットで構成された「SDGs (Sustainable Development Goals)」です。

日本ではSDGsを達成するため、2016年5月に「SDGs推進本部」を設置、同年12月に「SDGs実施指針」を策定しました。この指針では、「あらゆる人々の活躍の推進」「健康・長寿の達成」など、8つの優先分野が示されています。近年、メディアを通してよく耳にする「働き方改革」や「女性の活躍推進」は、この指針に沿った取り組みの一つです。

さらに、SDGs推進本部は、日本ならではの「SDGsモデル」を構築し、国際社会に発信していくため、「SDGsアクションプラン2019」を発表しました。ここには「SDGsの担い手として次世代・女性のエンパワメント」など、SDGsモデルの3本柱を掲げつつ、SDGs実施指針で示した8つの優先分野に対する政府の取り組みが記されています。

経済産業省では、SDGsをいかにして企業経営に取

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



SDGsのロゴ

り込み、持続的な企業価値を向上させていくか等を整理した「SDGs経営ガイド」を発表しました。また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でも、そのメインコンセプトの一つとして、「持続可能性」を重要なテーマに掲げており、SDGs達成のための節目となることが期待されています。

## カードゲーム「2030SDGs」でSDGsの世界を体感

一方で、日本で行われた調査ではSDGsの認知度は16%と低く(株式会社電通/2019年4月)、言葉は知っていても、開発途上国など海外の出来事であり、「自分事」として捉えられていないという現状があります。こうした中、独自に開発したカードゲーム「2030SDGs」を通してSDGsの理解を広げる活動をしているのが一般社団法人イマココラボです。

このゲームで使用するカードは「環境保護」や「貧困撲滅」など、5種類のゴールを記した「ゴールカー



カードやマグネットなどのキット



世界の状況メーターとマグネット

ド」、事業や研究、社会活動など、80種類のプロジェクトを記した「プロジェクトカード」、プロジェクトカードを実行する際、費やしたり得られたりするお金や時間を記した「お金カード」と「タイムカード」です。参加者は2~3人のグループに分かれ、さまざまなカードを使って与えられたゴールを目指します。ゴールはチームによって異なり、それによって各グループの行動も変わってきます。例えば、「環境保護」をゴールに掲げるグループは、多くの「お金」や「タイム」を費やして環境に関するプロジェクトを実行します。かたや「経済」をゴールとするチームは、プロジェクトカードやタイムカードを他のチームに売することで、「お金」を得ることもできます。このようなグループごとのアクションは、実際の世界でも起こり得ることです。

またこのゲームの大きなポイントは、グループの行動により、SDGsの主要なテーマである「経済」「環境」「社会」の充実度が、「世界の状況メーター」と称したマグネットで刻々と変化する様子が分かる点です。

イマココラボ事務局長でプロフェッショナルファシリテーターの<sup>ますだあやこ</sup>榊田綾子さんは次のように語ります。「さまざまな価値観や目標を持つ人々がいるこの世界で、SDGsを達成するためにはどのような考え方や行動が必要なのかを、体験的に理解していただくことができます。カードゲームは、義務感ではなく、楽しみながらSDGsを学ぶのに最適だと考えています」。

参加者からも「自分のグループのゴールに到達するために努力しながらも、世界の状況メーターがどうなっているかを常に気にしなければならない点が面白い」「SDGsを知ってはいたが、内容について改めて納得することができた」などの感想が寄せられるそうです。

### 「何を重視するか」で 世界が変化する体験を

現在イマココラボでは、このカードゲームを自主イベントとして月3回開催するほか、企業や自治体など

の組織から依頼を受け、研修としても実施しています。その際、ありがちなゲーム展開は、前半の時間で「経済」を優先するシビアな世界を作ってしまう、参加者同士でそのことを反省し、後半は「環境」や「社会」も充実させていくパターンです。ただ海外で、環境への意識が非常に高い方々が集まった回では、「環境」がまず優先され「経済」がほとんど発展しない経過をたどったこともあるそうです。

一方で、「子育て中の女性が集まる回では、また異なる展開になります」と榊田さんは語ります。「タイムカードをどんどん使い、いい世界を作ろうとされる方がとても多いのです。一見、素晴らしいことのようにですが、そんなときは、本当にそんなに時間を提供してよかったのか、実は自分の時間も大事にしたかったのではないかと問いかけています。心のどこかに報われない思いを抱えていたとしたら、SDGsが掲げる『持続可能』な生活は成り立ちませんから」（榊田さん）。

カードゲーム「2030SDGs」は自らの行動が世界に影響を与えていることに気付いたり、自分の価値観を大切に尊重しながら、周りの人や世界を豊かにする感覚を体験できたりする仕組みになっていて、これこそ、SDGsの基礎となっている「誰一人取り残さない未来」や「全ての人が尊重される世界」を構築する視点を構成しているのです。それはまさに人権尊重の精神そのものと言えるでしょう。

SDGsの認知度を高め、東京2020大会のレガシーとするためにも、「2030SDGs」のようなツールを使うことで、身近にSDGsを考えられるようになるのではないのでしょうか。

インタビュー／田村 鮎美（東京都人権啓発センター専門員） 編集／小松 亜子



### カードゲーム「2030SDGs」を開催！

「人権啓発指導者養成セミナー」でSDGsのカードゲームを実施します。詳細はP.8（裏表紙）をご覧ください。

- 開催日：2019年11月26日（火）
- 時 間：13時~17時
- 会 場：御茶ノ水トライエッジカンファレンス
- 対 象：企業、団体等の人権研修担当者

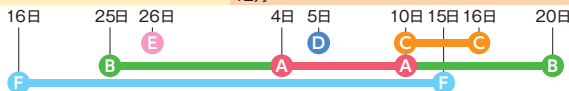


- 外務省「SDGsとは?」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

- 一般社団法人イマココラボ

<https://imacocollabo.or.jp/>



**A** 12月10日は世界人権デー  
12月4日～12月10日は  
人権週間です。

「世界人権宣言」が国連総会で採択された記念日が「世界人権デー」です。日本ではこの日に先立つ1週間を「人権週間」としています。



**B** 11月25日～12月1日は  
「犯罪被害者週間」です。

入場無料

事前申込不要

行事

東京都・墨田区共催

「大切なことは寄り添う気持ち 聞いて、知って、忘れないで」

- 日時 令和元年12月12日(木) 13:30～15:50(予定)
- 内容 講演「闇サイト殺人事件の被害者遺族となって」磯谷富美子氏 ほか
- 会場 すみだリバーサイドホール イベントホール(墨田区吾妻橋1-23-20)
- お問い合わせ 墨田区総務部人権同和・男女共同参画課  
TEL 03-5608-6322

東京都・日野市共催

「令和時代の被害者支援 ～これから私にできること～」

- 日時 令和元年12月20日(金) 13:00～16:40(予定)
- 内容 講演「『全員メディア時代』の犯罪被害者報道」下村健一氏 ほか
- 会場 七生公会堂(日野市三沢3-50-1)
- お問い合わせ 日野市健康福祉部セーフティネットコールセンター  
TEL 042-514-8542

**C** 12月10日～16日は  
「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

入場無料

事前申込制

行事

1日も早い拉致被害者全員の救出に向けて！

政府主催 国際シンポジウム  
「グローバルな課題としての拉致問題の解決に  
向けた国際連携」(「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」関連行事)

- 第一部 北朝鮮人権侵害問題啓発週間 作文コンクール表彰式
- 第二部 国際シンポジウム ●第三部 ミニコンサート
- 日時 令和元年12月14日(土) 14:00～16:30
- 会場 イノホール(千代田区内幸町2-1-1)
- 主催 政府拉致問題対策本部、法務省
- お問い合わせ シンポジウム事務局(株式会社ステージ内)  
TEL 03-5966-5784  
ホームページ <https://www.abductees2019.jp/>

**D** 夜間人権ホットライン

相談無料

人権侵害等の法律問題について、弁護士が電話相談をお受けします。個人の秘密は厳守します。

相談

- 日時 令和元年12月5日(木) 17:00～20:00
- 相談電話 03-6722-0127
- お問い合わせ 東京都人権プラザ TEL 03-6722-0124 / 03-6722-0125

**E** 人権啓発指導者養成セミナー(第2回)

「SDGsがいま、企業に必要とされる理由  
ーカードゲームを通じて  
“持続可能な”あり方を学ぼうー」

入場無料

事前申込制

行事

- 日時 令和元年11月26日(火) 13:00～17:00
- 会場 御茶ノ水トライエッジカンファレンス  
(千代田区神田駿河台4-2-5 御茶ノ水NKビル11F)
- お問い合わせ 東京都人権プラザ TEL 03-6722-0123

**F** 11月16日～12月15日は  
「東京都エイズ予防月間」です。

入場無料

事前申込制

東京都では、世界保健機関(WHO)が「世界エイズデー」と定めた12月1日を中心とする一か月間で啓発キャンペーンを実施します。

東京都エイズ予防月間講演会

「働く世代に多いHIV/エイズ ～誰もが働きやすい職場とは～」

- 日時 令和元年12月4日(水) 19:00～21:00
- 会場 ビジョンセンター新宿(新宿区新宿5-17-11 白鳳ビル10F)
- 定員 120名
- 申込締切 11月28日(木) 詳細はこちら  
[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/aids/yobo\\_gekkan/yobo\\_g\\_keihatsu.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/aids/yobo_gekkan/yobo_g_keihatsu.html)
- お問い合わせ 東京都福祉保健局  
健康安全部感染症対策課 エイズ対策担当  
TEL 03-5320-4487



(公財)東京都人権啓発センター賛助会員募集のご案内

皆様とパートナーシップを築き、人権意識の高揚、人権問題の解決に向けて、ともに手を携えてまいりたいとの趣旨から賛助会員制度を設けております。趣旨にご賛同いただき、ご加入下さるようご案内申し上げます。

個人  
賛助会員

一口 2,000円

団体  
賛助会員

一口 30,000円

●お問い合わせ

(公財)東京都人権啓発センター  
総務課

TEL 03-6722-0082

※  
団体  
会員の  
皆様

(公財)東京都中小企業振興公社  
(株)首都圏環境美化センター  
(一財)東京都人材支援事業団  
(株)ミライト・テクノロジー  
東京都中小企業団体中央会  
東京都下水道サービス(株)

(一財)東京都営交通協会の  
(一社)東京都信用組合協会  
東京都人権啓発企業連絡会  
(公財)東京都学校給食会  
(一社)東京環境保全協会  
(株)東京国際フォーラム

東京臨海高速鉄道(株)  
(株)東京エイドセンター  
(公財)東京しごと財団  
東京交通サービス(株)  
東京都住宅供給公社  
東京都職員信用組合

東京都商工会連合会  
東京臨海熱供給(株)  
(株)東京ビッグサイト  
(公財)東京観光財団  
(公財)東京税務協会  
(公大)首都大学東京

(一財)東京都弘済会  
自治労東京都本部  
(株)東京交通会館  
東京食肉市場(株)  
NPO法人TEOS  
東京港埠頭(株)

(株)ゆりかもめ  
(順不同)

●編集後記(84号予告)

発行ベースが乱れたまま、本年の人権週間を迎えることになりました。関係者の皆様には心よりお詫び申し上げます。次号Vol.84では、障害者アートを中心とした商品開発に取り組むグラフィックデザイナーのライラ・カセムさんへのインタビューほか、ホットな記事をお届けします。どうぞお楽しみに。

TOKYO人権

Vol.83 2019年秋号

2019年11月25日発行(年4回発行)

- 制作・印刷 株式会社トライ
- 発行 公益財団法人 東京都人権啓発センター  
〒105-0014 港区芝2-5-6 芝256スクエアビル 2階  
TEL 03-6722-0085 FAX 03-6722-0084  
<https://www.tokyo-jinken.or.jp/>